

投資事業評価調書(新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 金田宣文 (藤田 宜久)	内線	4 3 8 9 (4 3 9 9)
-----	-------	---------------------	------------------------	----	------------------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約5.8億円
		特定交通安全施設等整備事業 (国) 3 1 2号	姫路市野里～神和町	うち用地補償費	約 0億円
所在地				着工予定年度	完成予定年度
姫路市野里～神和町				平成18年度	平成21年度

事業目的	事業内容
交通安全対策 ・“つくる”から“つかう”の観点から自転車・歩行者交通量の多い当該道路空間を見直し、既設歩道を拡幅するとともに、波打ち歩道の段差解消を図ることで、交通安全対策を推進する。	歩道整備（両側） L = 1 , 1 4 0 m W = 2 . 0 m (2 . 5) m 現 況 W = 1.0(1.5) ~ 2.0 (2.5) m (負担割合 国1/2 県1/2)

評価視点	
(1)必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車交通量、歩行者・自転車交通量が多い。 (自動車20,245台/日、歩行者304人/日、自転車868台/日) ・過去5年間に自転車・歩行者の交通事故(61件)が発生している。 ・死傷事故率(359.97人/億台km) ・D I D地区内であり、沿道には人家が連坦しており、近隣にはJ R京口駅、(約400m)、京口団地(約80m)、ショッピングセンター(3箇所;約50~450m)があり、市立東小学校及び東光中学校の通学路でもあることから多様な利用環境にある。 ・あんしん歩行エリア(姫路市市川橋西地区)内の事業であり、幹線道路に位置づけられている。 ・地域住民の協力により作成されたヒヤリハットマップでは、交通量が多く、スピードを出して通過する車によるヒヤリ体験が多く提案されている。 ・住民参加による交通安全総点検を実施し、歩道の拡幅や平坦性の確保が提案されている。 ・連続性の確保(前後の整備状況・・起点側の二本松交差点付近は整備済み、終点側の姫路天神前交差点付近は整備済み) ・幅員狭小部(1.5m)について、車道幅員の一部を活用して歩道の拡幅(2.5m)行うとともに電線類の地中化やセミフラット型による歩道のバリアフリー化を図る
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車の安全が確保され、投資効果が期待できる。 ・円滑な事業執行に向けて、地元の協力体制等が整っている。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道部に透水性舗装を採用し、雨水を地下に還元するなどの環境にやさしい構造とする。 ・車道部は排水性舗装を行うことにより、車両の走行性と安全性の向上及び沿道環境の負荷の軽減を図る。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・あんしん歩行エリアに位置づけられ、歩道の拡幅、平坦性不良箇所の解消が提案されている。 ・事業区間の一部が小学校の通学路に指定され、近隣に駅があるなど朝夕の通勤通学時には、歩行者と自転車利用者が輻輳し、車道へのはみ出しが発生するなど危険な状況にある。 ・無電柱化推進計画における事業区間でもあり、一体的な事業を行うことで、自転車や歩行者が安心して利用できる空間再生が図れる。